

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない書類が提出されない	学校を経由する情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、環境整備に着手できない

2021/11/25

目指すべき方向性

	保護者	児童	現場	行政
将来像	安全・安心な見守り	居心地の良い場所	多様な人材確保の仕組み	持続可能な運営
対象	希望学年までの利用	意思の尊重 個に応じた支援	質の高い見守り	真に必要な利用者の受入れ
情報共有	利便性の向上	—	迅速・正確な情報共有	システムの導入 迅速な緊急対応
運営	手続きの簡素化	—	組織的な運営 見守り重視	効果的なマネジメント

・子ども達が、リラックスして楽しく自由に過ごせる
 ・保護者負担が少なく、安心して預けられる統一したサービス・環境の提供
 ・『地域の中で地域の子どもたちを見守り育む』という特徴を維持

2021/11/25

4 現状の課題

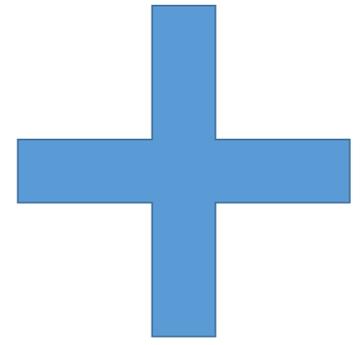
対象	現状の課題
子ども	子どもの特性に寄り添った支援の必要性が増している。 遊びのレパートリーが少なく、特性に合った新しい取り組みが必要。
保護者	職員が同じ地域に住んでおり家族世帯を担っているため、育児の悩みや子どものことについて、相談しづらい。 緊急時などの連絡が、システムがないため電話や文章対応となり遅やかに連絡がこない。 また、文章連絡が電話インシンのため不便。 児童料金のチャージ購入が面倒で払い戻しもできない。 職員が異動しないため、考え方が固定化し柔軟な場合がある。
児童厚生員	各地域で人材を確保することが難しい。また、高齢化しており今後の若い手不足が不安。 児童厚生員への対応に関する苦情が多い。ハラスメント被害の対応に苦慮している。 地方や夜間に対応した資金体制になっていない。 支援が必要な児童の増加や保護者要求の多様化により、これまで以上に豊富な経験や専門知識が求められている。
行政	事務手続き（統計・統計支払・シフト作成 など）が煩雑であるため、負担が大きい。 各地域で職員を雇用しているため人事異動が難しく、人間関係が固定化している。 児童数や施設数の増加に伴い、各地域の保護者からの相談対応等が常業務に変われ、特性の変化により発生している様々な課題の解決が、なかなか進まない。 保護者が各地域に相談しづらく、匿名で多くの苦情や問い合わせがある。 運営情報システム化しておらず、利用状況（統計・緊急時 など）の把握の難は、各地域からメールやメール等で情報を取り寄せるため時間がかかり業務が煩雑。 緊急時の対応についてノウハウが少ない。（新型コロナウィルス対応など） 相談窓口に十分なサービスが提供できていない。

2/2



1/2

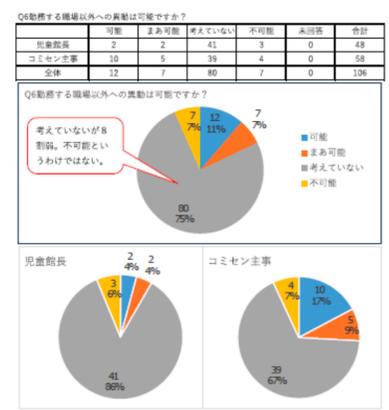
市で把握していた事実



アンケート結果

児童クラブに関するアンケート集計結果

- アンケート対象者
児童館長（児童クラブ実）
コミュニティセンター主事
- アンケートの実施方法
WEB（インターネット）または、アンケート用紙
- アンケート回収数
106件（回答48、主事58）
- 規模別 小学校の児童数に基づき区分



※児童館長は、正式な児童クラブではなく児童クラブ的に運営しているもの。兼任児童員がいないこと、利用者が多いこと等考慮している。

5 その他

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

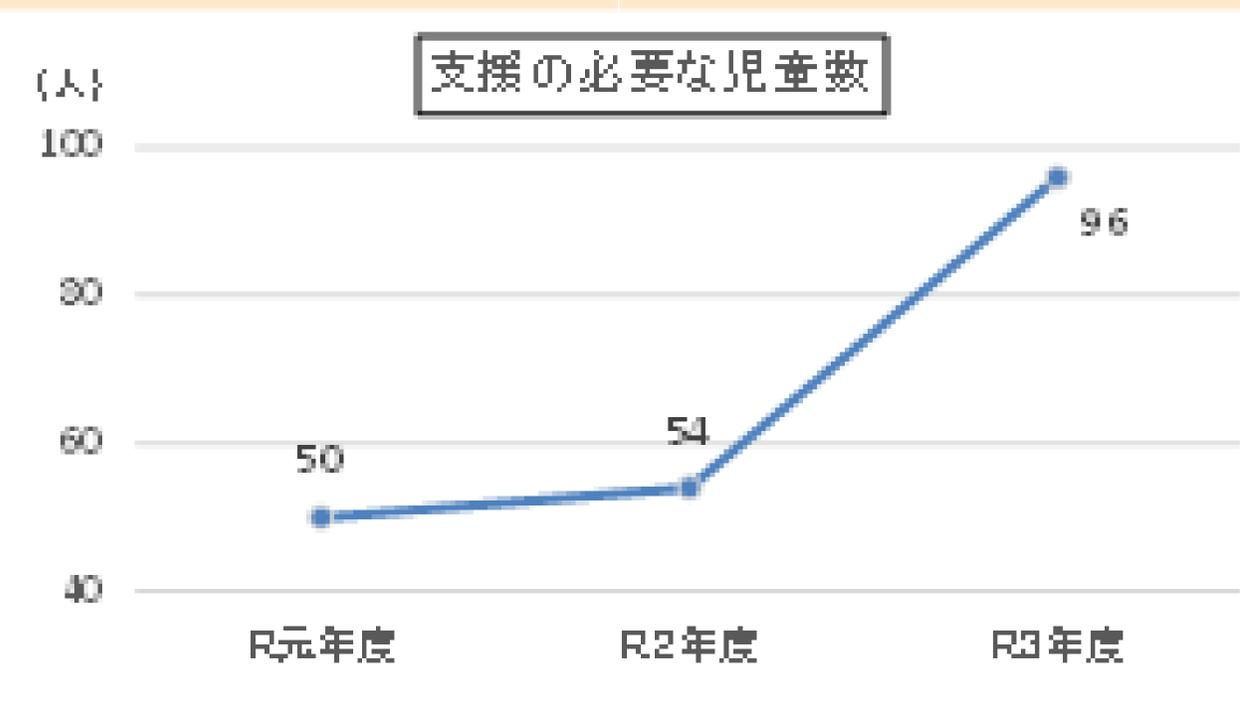
本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様な二	<p>児童数</p> <p>登録人数</p> <p>※児童館は自由来館のためデータなし</p>	<p>難</p> <p>よい</p>
対象	低学年優先	高学年ほ 配慮を要		
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を		
運営	手続きが繁雑			

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政								
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営								
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難								
情報共有	 <p>支援の必要な児童数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>		年度	人数	R1年度	50	R2年度	54	R3年度	96	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
年度	人数											
R1年度	50											
R2年度	54											
R3年度	96											
運営			1ミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない								

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

本市の児童クラブの課題

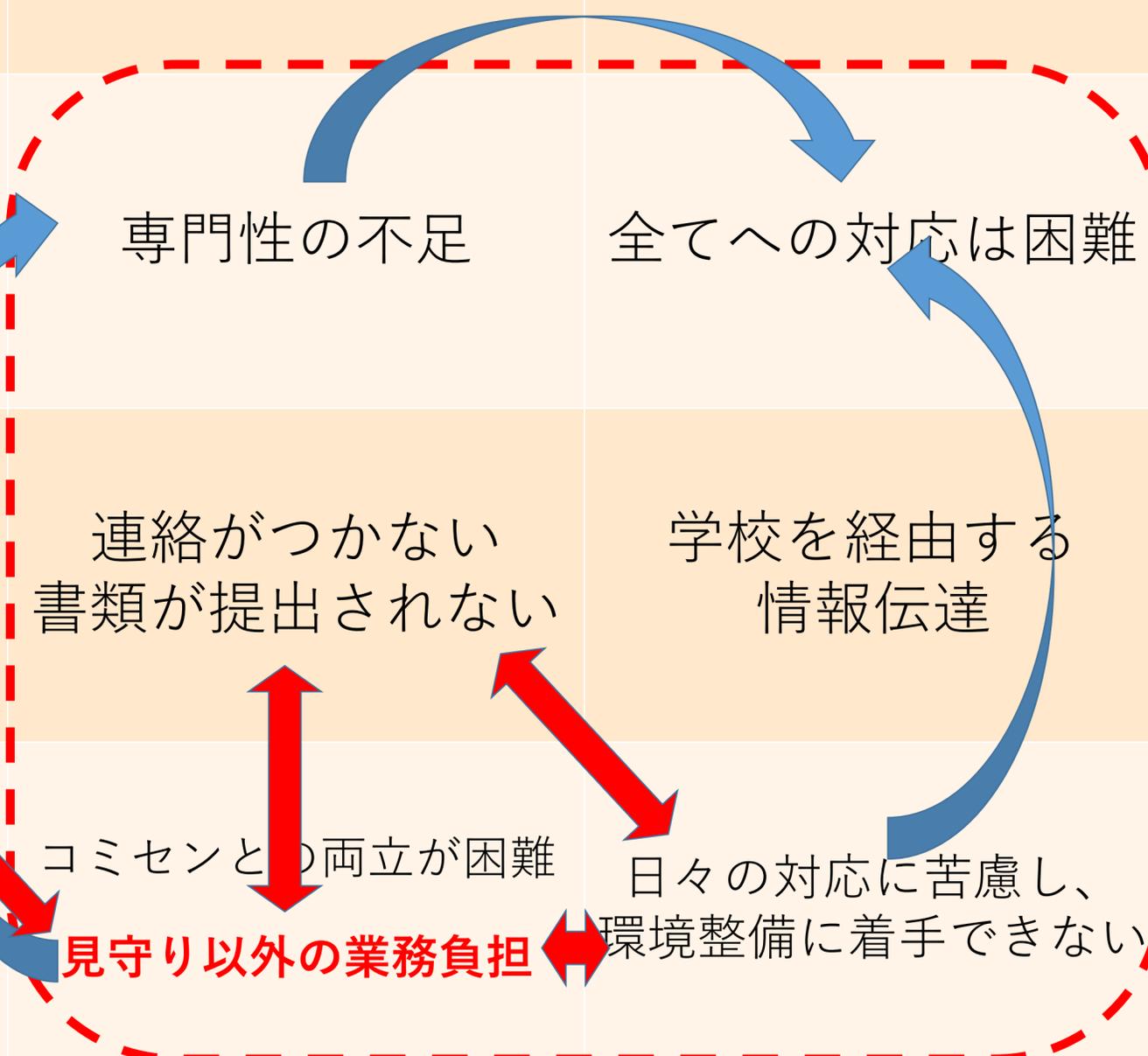
	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

本市の児童クラブの課題

	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない

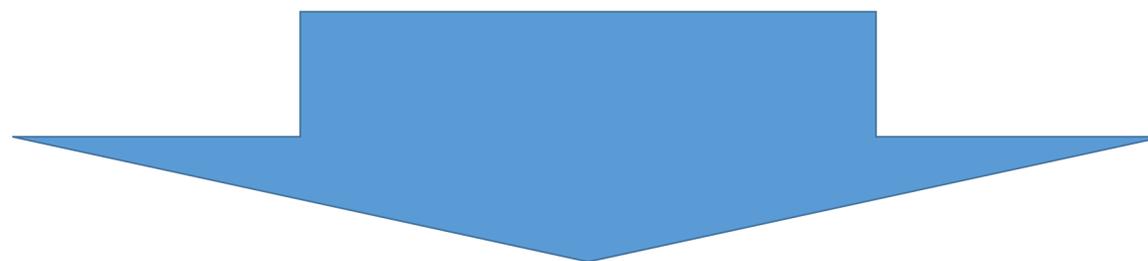


目指すべき方向性

	保護者	児童	現場	行政
将来像	安全・安心な見守り	居心地の良い場所	多様な人材確保 の仕組み	持続可能な運営
対象	希望学年までの利用	意思の尊重 個に応じた支援	質の高い見守り	真に必要な 利用者の受入れ
情報共有	利便性の向上	—	迅速・正確な 情報共有	システムの導入 迅速な緊急対応
運営	手続きの簡素化	—	組織的な運営 見守り重視	効果的な マネジメント

目指すべき方向性

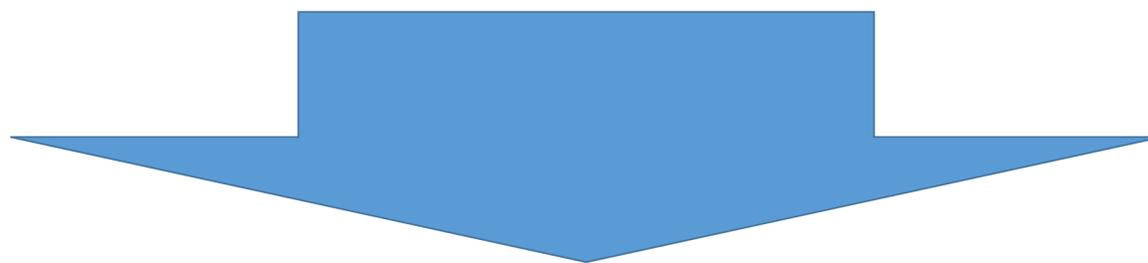
	保護者	児童	現場	行政
現状	共働き世帯の増加	多様なニーズの対応	地域内での 人材確保が困難	地域主体の運営



	保護者	児童	現場	行政
将来像	安全・安心な見守り	居心地の良い場所	多様な人材確保 の仕組み	持続可能な運営

目指すべき方向性

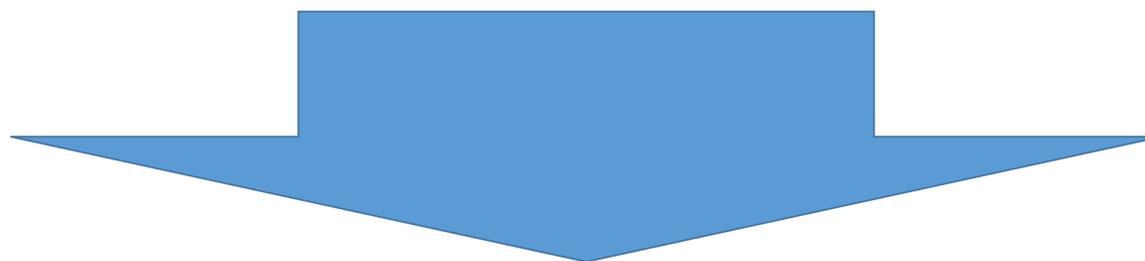
	保護者	児童	現場	行政
対象	低学年優先	高学年ほど利用に抵抗 配慮を要する児童増加	専門性の不足	全てへの対応は困難



	保護者	児童	現場	行政
対象	希望学年までの利用	意思の尊重 個に応じた支援	質の高い見守り	真に必要な 利用者の受入れ

目指すべき方向性

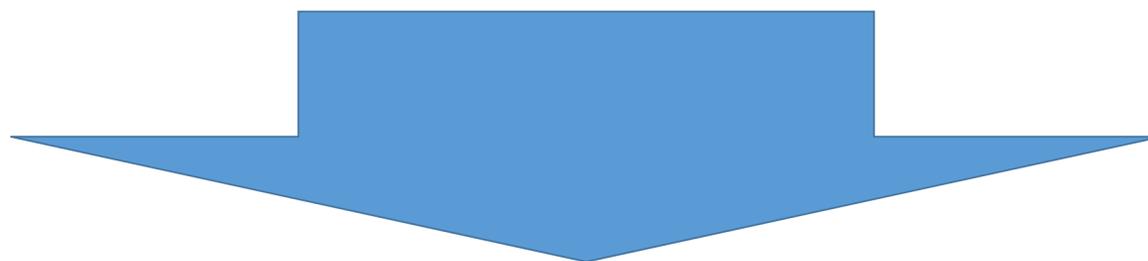
	保護者	児童	現場	行政
情報共有	現在の連絡手段が 電話のみ	配布物を渡す必要性	連絡がつかない 書類が提出されない	学校を経由する 情報伝達



	保護者	児童	現場	行政
情報共有	利便性の向上	—	迅速・正確な 情報共有	システムの導入 迅速な緊急対応

目指すべき方向性

	保護者	児童	現場	行政
運営	手続きが繁雑	—	コミセンとの両立が困難 見守り以外の業務負担	日々の対応に苦慮し、 環境整備に着手できない



	保護者	児童	現場	行政
運営	手続きの簡素化	—	組織的な運営 見守り重視	効果的な マネジメント

目指すべき方向性

	保護者	児童	現場	行政
将来像	安全・安心な見守り	居心地の良い場所	多様な人材確保 の仕組み	持続可能な運営
対象	希望学年までの利用	意思の尊重 個に応じた支援	質の高い見守り	真に必要な 利用者の受入れ
情報共有	利便性の向上	—	迅速・正確な 情報共有	システムの導入 迅速な緊急対応
運営	手続きの簡素化	—	組織的な運営 見守り重視	効果的な マネジメント

目指すべき方向性

	保護者	児童	現場	行政
将来像	安全・安心な見守り	居心地の良い場所	多様な人材確保の仕組み	持続可能な運営
対象	希望学年までの利用	意思の尊重 個に応じた支援	質の高い見守り	真に必要な 利用者の受入れ
情報共有	利便性の向上	—	迅速・正確な 情報共有	システムの導入 迅速な緊急対応
運営	手続きの簡素化	—	組織的な運営 見守り重視	効果的な マネジメント

目指すべき方向性

保護者

児童

現場

行政

- ・子ども達が、リラックスして楽しく自由に過ごせる
- ・保護者負担が少なく、安心して預けられる統一したサービス・環境の提供
- ・『地域の中で地域の子どもたちを見守り育む』という特徴を維持

見守り重視